

平成30年度

事業計画書

特別養護老人ホームしうんじ
特別養護老人ホームしうんじ(地域密着型)
デイサービスセンターしうんじ
ホームヘルプサービスしうんじ
老人介護支援センターしうんじ
新発田北地域包括支援センター

I 経営理念	3	IX 介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設 ・短期入所生活介護（特別養護老人ホーム）	11	X II 居宅介護支援事業 (老人介護支援センター)	20
II 経営目標	3	1 事業所目標		1 事業所目標	
III 経営方針	3	2 部門数値目標		2 部門数値目標	
IV 行動規範	4	3 サービス向上目標		3 サービス向上目標	
V 本部運営	4	4 行事計画		4 営業日	
1 役員及び役員会の開催		5 個別の外出支援		5 事業収入見込	
2 評議員及び評議員会の開催		6 事業収入見込			
VI 設備整備・更新	5	X 通所介護事業	15	X III 地域包括支援センター事業 (新発田北地域包括支援センター)	21
1 建物・建物附属設備等		1 事業所目標		1 事業所目標	
2 車両運搬具		2 部門数値目標		2 部門数値目標	
3 ソフトウェア		3 サービス向上目標		4 営業日	
VII 重点事項	5	4 営業日		5 事業収入見込	
VIII 委員会活動	8	5 行事・レクリエーション計画			
1 委員会活動の推進に伴う役割		6 事業収入見込		XIV 管理部門	22
2 各委員会の活動目的及び構成				1 部門目標	
3 その他の係		X I 訪問介護事業	18	2 部門数値目標	
		1 事業所目標			
		2 部門数値目標			
		3 サービス向上目標			
		4 営業日			
		5 事業収入見込			

I 経営理念

- 1 地域住民が住み慣れた土地で安心して暮らせるよう、地域福祉を推進します
- 2 利用者の意思及び人格を尊重し、明日への希望ある人生が送れるよう質の高いサービスを提供します

II 経営目標

- 1 利用者や家族から信頼されるサービスを提供します
- 2 地域から信頼される施設、地域貢献できる事業展開を行います
- 3 事業所単位で安定経営を図ります

III 経営方針

- 1 利用者サービス
 - i 利用者の満足度を高められる質の高いサービスを提供します
 - ii 利用者個々の意向に合わせ、必要なサービスを迅速に提供します
 - iii 利用者が安心してサービスを利用できる環境づくりを行います
 - iv 利用者・家族・地域住民との交流を通じ、うるおいある生活が送れるよう支援します
- 2 地域への協力
 - i 施設機能を開放し、地域住民との交流を図ります
 - ii 法人が兼ね備える機能を最大限活用し、地域福祉を推進します
- 3 事業経営

経営分析を行い経営基盤の安定・強化をはかるとともに、法人の方向性を見極め健全経営に努めます

IV 行動規範

- 1 ペン・アンド・インクの心配りができる職員
- 2 利用者を第一に考えて行動・支援できる職員
- 3 利用者と喜びを分かち合いながら仕事ができる職員
- 4 明るくさわやかにチームワークをとれる職員
- 5 清潔な身だしなみ、礼儀正しい職員
- 6 課題意識を持ち、ワンランク上を目指す職員
- 7 職場や地域環境への心配りができる職員

V 本部運営

1 役員及び役員会の開催

- ① 役員 役員数：理事6人、監事2人

任 期：平成29年6月開催の定時評議員会の終結から平成31年6月開催の定時評議員会の終結まで

② 理事会及び監事監査

- i 理事会 定款第24条から第28条の定めに従い、理事会を年2回以上、開催します。
- ii 監事監査 定款第18条の定めに従い、決算時及び必要時随時に監査を実施します。

③ 役員会

法人経営・運営に関する協議を適時、開催します。

2 評議員及び評議員会の開催

- ① 評議員8人：任期 平成29年4月1日から平成33年6月開催の定時評議員会の終結まで

② 評議員会の開催

- i 定款第10条に定める事項を決議するため、定時評議員会として6月に開催するほか、必要時に開催します。

VI 設備整備・更新

1 建物・建物付属設備等	
① 既存棟・給湯配管の老朽化による更新工事（居室系統）	11,620,000円（一般競争入札案件）
② 既存棟・そよかぜ棟改修（間仕切り・棚設置）工事	1,500,000円
2 器具及び備品	
① ノートパソコン 11台の入替整備	2,068,000円（一般競争入札案件）
② 厨房設備（ガス式自動炊飯器）の入替整備	432,000円
③ 増築棟・居室ルームエアコン 19台の入替整備	3,895,000円（一般競争入札案件）
3 ソフトウェア	
① 介護予防支援・受託事業者ケアプラン作成システム	194,400円

※ 上記設備更新に係る資金について、設備整備修繕等積立金 19,709,4000円を取崩します。

Ⅶ 重点事項

社会福祉法第24条「経営の原則」の第1項に、「社会福祉法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性の確保を図らなければならない」とあります。

紫雲寺加治川福祉会の経営基盤の強化を図りつつ、地域における様々な福祉需要に対応し、あるいは制度の狭間にいる人々を救済するとともに、利用者一人ひとりの尊厳を守る良質な福祉サービスを提供し、地域に暮らす人々から安心と信頼が得られるよう取り組みます。

1 コンプライアンスの徹底

関係法令（社会福祉法、介護保険法、高齢者虐待防止・高齢者の養護者に対する支援等に関する法律、個人情報保護に関する法律、運営基準）経営理念、法人の諸規程（就業規則、指針、マニュアル）など職員一人ひとりが遵守すべきルールを正しく認識し、それに基づいて仕事に取り組みます。

2 北圏域の関係機関との連携の強化

地域包括ケアシステムの構築に向けて、新発田市や北圏域の医療機関・介護事業所・地域包括支援センター・在宅医療及び歯科連携室等と互いに顔と仕事が見える関係を築きます。

2 サービスの質の向上

地域のニーズや利用者一人ひとりの個別のニーズを把握し、それに適切に対応できるよう、事業所の運営やサービス内容を見直したり工夫します。

3 トータル人事管理システムの推進

平成29年度に見直しした「職務基準書」（事業所・職種毎の業務内容）を職員に周知するとともに、各職位や職種に対応する研修や日常のOJTを実行し、人材育成を図ります。

4 生産性の向上・時間外労働の短縮・職員の健康保持・労務管理の徹底

平成29年度に引き続いて、衛生委員会と各事業所が連携をして「業務の効率化」「職員のスキルアップ」「仕事の配分の見直し」「職員配置の適正化」に取り組み、時間外労働を短縮し、職員の健康保持と生産性の向上を図ります。

また、利用者支援の中で出てくる突発的な業務については、事前に所定の手続き（時間外勤務の必要性をセルフチェックし、必要と判断した場合は上司に事前申請し承認を得る）をしてから仕事をすることを習慣化します。

5 経営基盤の強化

経営を安定させるため、各事業所が事業量見込み（目標）は毎年必達という認識で取り組み、平成29年度に策定した長期資金計画に基づいた積立（建設積立金・設備等整備修繕積立金）を行っていきます。

6 地域における公益的な取り組み等

① 在宅介護の応援

i 出張介護技術指導（ホームヘルプサービスしうんじの介護福祉士が担当）

オムツ交換、食事介助、ベットから車椅子への移乗などの方法について、「うまくできないあるいは不安に思っている」という在宅の介護者を支援するため、ご利用者宅へ介護福祉士を派遣し、介護技術指導を行います。

ii 介護者教室（特別養護老人ホームしうんじの介護福祉士が担当）

在宅の介護者、民生委員など介護や福祉に携わっている方に対して、介護に対する不安解消や技術の向上などを目的に介護者教室を開催します。

② 認知症高齢者の見守り・捜索等への協力

i 徘徊シルバーSOSへの協力

警察署等から行方不明の認知症高齢者の情報を得た場合は、法人事業所・職員で情報を共有し、利用者宅への訪問時や利用者送迎などの外出時、通勤の際に注意を払って不明者を捜索します。

ii 新発田市認知症高齢者見守り事業への協力

見守り対象者として登録された方について、法人事業所・職員で情報を共有し、利用者宅への訪問時や利用者送迎などの外出時、通勤の際に見守りします。

③ 低所得者への配慮

介護保険サービスに係わる利用者負担軽減事業に引き続き取り組み、生活困窮者等に対し介護保険サービス費・食費・居住費の軽減を行います。

④ れんぎょうの里祭りの実施

地域とのつながりや地域住民や中学生がボランティア体験を通じて社会福祉への関心を持っていただけるよう「れんぎょうの里祭り」を実施します。

⑤ 福祉人材の育成

将来の社会福祉を担う人材を育成するために、各種実習生の受け入れを行います。

「総合学習（職業体験学習）」「施設見学」の受け入れや「社会福祉」「職業としての魅力」などに関する講義など小中学校等の要請を受け行います。

VIII 委員会活動

1 委員会活動の推進に伴う役割

① 委員長

- i 指針・年間活動計画に基づき、委員会の目的が達成できるよう活動します。
- ii 2月末までに年間評価を行い、次年度の活動計画を作成するとともにその内容を所定の場所に入力します。

② 委員

- i 委員会の目的達成のため、年間計画に基づき積極的に役割を果たします。
- ii 書記になったときは、速やか（1週間以内）に記録し委員長へ提出します。

③ 施設長・副施設長は、各委員会の活動・検討内容に応じて随時、委員会に出席または助言します。

2 各委員会の活動目的及び構成員

委員会名	目 的	構成員
① 経営委員会	<ul style="list-style-type: none"> i 法人の円滑な運営、経営に向け、課題提起及び改善策を検討します。 ii 経営委員会では、中長期的な視野で主に次の事項の検討を行います。 ア 健全経営に向けた取組み、人事管理（職員の採用、育成など） イ 人事管理（人事管理制度の効果的運用、職員の採用、育成など） 	◎高橋定男 花野裕子
② 管理運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> i 経営委員会と連携し、各事業所のサービスの質の向上及び職員の育成について検討します。 ii キャリアパス、人事管理システム運用基準、業務一覧表、給与規程、体系的な研修プログラムの作成などトータル人事管理システム全般の見直しを行います。 	◎遠藤由香 高橋定男 花野裕子 高橋香織 岩崎恵美子
③ 苦情解決委員会	<ul style="list-style-type: none"> i 利用者等からの苦情に適切に対応しサービスの質の向上に努めます。 ii 苦情の解決結果を第三者委員に報告し必要な助言を受けるとともに、事業報告書やホームページに実績を掲載し公表します。 	◎高橋公子 片貝 浩 大久保政信 高橋定男 花野裕子 高橋香織 岩崎恵美子 阿部隼人 九原長之
④ 入所検討委員会	入所待機者の優先順位を決定します。	◎高橋香織 小川清栄 高橋定男 花野裕子
⑤ 運営推進会議	i 事業所からの活動報告を受け、それを評価し、必要な要望・助言を行うことで、利用者の「抱え込み」を防止するとともに介護サービスの質を確保します。	村山英子 伊藤克春 遠山信子 中野富江 高橋定男 高橋香織 小野貴司 稲葉 徹 須貝美佳子 鈴木千尋

委員会名	目的	構成員
⑥ 研修委員会	i 法人職員のニーズに合わせた研修を企画し実行します。	◎稲葉 徹 五十嵐恵子 横河のぞみ 廣澤桂子 水野友未 和田久子 高澤令子 北澤暁雄
⑦ 防災委員会	i 地域消防団の協力を得て総合避難訓練を年1回実施します。 ii 消火訓練、避難訓練、通報訓練のいずれかを年1回実施します。 iii 消火設備、消化器、避難設備、通報設備について、必要時、迅速に使用できるよう研修を行い、利用者の人命保護と災害の拡大を防止します。	◎九原長之 本間春代 近藤直美 大久保勇汰 廣澤貴夫
⑧ 衛生委員会	i 指針に基づき活動します。 ii 定期健康診断（メンタルヘルスチェックを含む）等の結果に対する対策を産業医とともに立案し実行します。 iii 職場巡視を行い職員の健康障害の防止を図るための対策を産業医・事業所と連携しながら実行します。 iv 各事業所と連携し時間外労働を短縮するための具体的な取り組みを実行する。	◎佐藤千秋 花野裕子 遠藤由香 阿部隼人 須貝美佳子 加藤奈々 産業医：平塚素子
⑨ 事故防止委員会	i 指針に基づき活動します。 ii 事故発生防止のための研修を年2回実施します。 iii 事故等の集計・分析を行い再発防止に努めます。	◎小野貴司 九原長之 坂上由里 金澤文吾 豊嶋昌子
⑩ 看取りケア委員会	i 指針に基づいた看取りケアを推進します。 ii 看取り（特養職員職員のみ）に関する研修を計画し実施します。	◎伊藤克裕 山鳥弘一 稲葉 徹 須貝美佳子 小野貴司 花野裕子 高橋香織 原 伸
⑪ 感染症対策委員会	i 指針に基づき活動します。 ii 感染症及び食中毒の予防に関する研修を年2回実施します。	◎川崎香奈 八木誉貴 本間千夏 本間晃彦 山本美枝子 伊藤千穂 中野詩織
⑫ 吸引に関する安全対策委員会	i 介護職員による医療行為を行うための体制を整えるとともに、手順及び技術に関する手順書の整備や見直しを行います。 ii 介護職員が当該行為ができるよう、法令で定められた研修を受講・実施します。 iii 定期的実施体制の評価・検証を行うため、指示書や指導助言の記録、実施の記録を作成し、適切に管理・保管します。併せて、ヒヤリハット事例を分析します。	◎久保田敏則 山鳥弘一 本間春代 伊藤 佑 若月里美

委員会名	目 的	構成員
⑬ 栄養委員会	i 利用者の生活の中心となる食事の質の向上を目指します。 ii 利用者からの苦情相談等に適切に対応できるよう関係事業所と連携します。	◎中野詩織 大矢裕一 小野良子 傳智恵子 高橋香織 日清職員
⑭ 褥瘡対策委員会	i 指針に基づき、褥瘡発生の予防活動をします。 ii 褥瘡マネジメント加算の算定要件を理解し、ケアチームと連携して加算を算定します。	◎阿部惣子 稲葉 徹 須貝美佳子 小野貴司 中野詩織 佐藤勇太
⑮ 身体拘束廃止委員会	i 指針に基づき、身体拘束の廃止に向けて活動します。また、やむを得ず身体拘束を行う場合と解除のに向けた検討等を行います。 ii 身体拘束の適正化のための研修を年1回実施します。	◎須貝美佳子 八木誉貴 鹿野恵美 松田千晶 小林千鶴 原 伸
⑯ 広報委員会	i 紫雲寺加治川福祉会の活動についてホームページに掲載します。 ii 職場としての魅力を発信し、人材確保に結びつける。	◎加藤奈々 遠藤由香 大竹雪枝
⑰ れんぎょうの里祭り 実行委員会	れんぎょうの里祭りの企画・運営を行います。	◎高橋香織 横河のぞみ 高橋彰大 廣澤桂子 杉林 翠 安野尚子 本間メミ子 鈴木千尋 安達由美子 佐藤千秋 中野詩織

3 その他の係

係名	目 的	構成員
① ボランティア係	ボランティアの窓口となり活動が円滑に行えるよう支援します。	◎須貝美佳子 稲葉 徹 中野詩織 加藤奈々 豊嶋昌子 佐藤勇太
② 実習生係	学校や実習生との連絡調整を行います。	特養：高橋香織 居宅：花野裕子 包括：岩崎恵美子 デイ：阿部隼人
③ 排泄支援係	利用者の心身の状態にあった排泄用品をケアチームと共に選定・管理する。	◎小野貴司 八木誉貴 大矢裕一 本間ナオ子 松田千晶

IX 介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業（特別養護老人ホーム）

1 事業所目標

《広域型・地域密着型共通》

利用者が入所から退所までその人らしく生活が送れるよう支援するため、次の取り組みを行います。

- i 生活歴や日常生活の様子から利用者の個別を理解し、その人らしさを実現するためのケアを施設サービス計画書や個別援助マニュアルに位置付け、実行します。
- ii 入所から終末期までの介護マニュアルに基づき、各段階に応じて担当職種が定められた役割を実行します。

2 部門数値目標

広域型・地域密着型・短期入所の合計稼働率97.4%以上目指します。（地域密着型・広域型稼働率：98.0% 短期入所の稼働率93%）

3 サービス向上目標

① のんびりグループ《広域型》

- i 利用者やチームの課題を明確にし、ひとりひとりが解決に向けて取り組みます。

② なごみ・ゆったりグループ《広域型》

- i 利用者がその人らしく生活できるよう、利用者の個別性をケアに取り入れます。
- ii 利用者が安心して穏やかな生活が送れるように、支援します。

③ ほのぼの・ゆうゆうユニット《地域密着型》

- i 口腔ケアの強化や嚥下状態に合わせた援助を行い、誤嚥性肺炎を予防に取り組みます。
- ii 利用者がその人らしく生活できるよう、利用者の個別性をケアに取り入れます。

④ 医務室

- i 利用者の状態変化に早期に対応できるよう、他職種(特に介護職員)と必要な情報を共有していきます。
- ii 利用者が最期までその人らしく生活できるよう、PDCAに取り組みます。

⑤ いきいきグループ《短期入所》

- i 新規利用者受入れ時や状態変化時は直ちに身体状態に適した介護計画書を立て、チーム員との共有を図り、サービスを提供します。
- ii サービス提供や身体状態の記録を残し、モニタリングに活かします。また、その内容をタイムリーに関係事業所と共有し、身体状態に合せたサービス提供につなげます。
- iii 利用者が心地よく安心して過ごせるよう、居室環境を整えたり、持ち物の管理を行います。

4 行事計画

① 施設内行事

行事名	日程
敬老会	9月14日(金) 10:30～11:30
餅つき会	12月27日(木) 10:30～11:30

② 施設外行事

行事名	日程	行き先
花見	4月	治水公園ほか
あやめ見学	6月に3回	五十公野公園
れんぎょうの里祭り	7月28日(土) 17:30～19:30	特養ホーム駐車場
ぶどう狩り	9月に3回	聖籠町「吉田誠樹園」

5 個別の外出支援

利用者の要望に応じ、随時、外出の援助を行います。

6 事業収入見込

① 特別養護老人ホームしうんじ(定員50名)

i 事業量

ア 目標稼働率	98 %
イ 年間利用者数	17,885 人

ii 要介護度平均 3.76

iii 年間収入見込み額

内 訳		見 込 額	前年度見込額	増 減
収入	介護報酬収入	146,835,485	143,510,823	3,324,662
	利用者負担金	16,315,054	15,945,647	369,407
	食費収入	24,917,360	24,787,997	129,363
	居住費収入	15,162,890	15,085,552	77,338
	計	203,230,789	199,330,019	3,900,770
利用者負担 軽減事業	利用料軽減額	△ 2,000,000	△ 1,700,000	△ 300,000
	軽減事業助成金	448,000	448,000	0
	計	△ 1,552,000	△ 1,252,000	△ 300,000
合 計		201,678,789	198,078,019	3,600,770

② 特別養護老人ホームしうんじ 地域密着型 (定員20名)

i 事業量

ア 目標稼働率	98 %
イ 年間利用者数	7,154 人

ii 要介護度平均 3.6

iii 年間収入見込み額

内 訳		見 込 額	前年度見込額	増 減
収入	介護報酬収入	66,325,324	60,973,371	5,351,953
	利用者負担金	7,369,480	6,774,819	594,661
	食費収入	10,108,580	10,087,972	20,608
	居住費収入	14,758,640	14,728,582	30,058
	計	98,562,024	92,564,744	5,997,280
利用者負担 軽減事業	利用料軽減額	△ 1,470,000	△ 680,000	△ 790,000
	軽減事業助成金	159,000	159,000	0
	計	△ 1,311,000	△ 521,000	△ 790,000
合 計		97,251,024	92,043,744	5,207,280

③ 短期入所生活介護（定員10名）

i 事業量

ア 目標稼働率 93 %

イ 年間利用者数 3,395 人

ii 要介護度平均 介護 2.6

要支援 1.8

iii 年間収入見込み額

内 訳		見 込 額	前年度見込額	増 減
収入	介護報酬収入	27,619,441	27,097,511	521,930
	利用者負担金	3,068,826	3,010,835	57,991
	食費収入	3,983,230	4,566,903	△ 583,673
	居住費収入	3,220,030	3,319,229	△ 99,199
	計	37,891,527	37,994,478	△ 102,951
利用者負担 軽減事業	利用料軽減額	△ 192,000	△ 192,000	0
	軽減事業助成金	0	0	0
	計	△ 192,000	△ 192,000	0
合 計		37,699,527	37,802,478	△ 102,951

X 通所介護事業

1 事業所目標

- ① 定時内に日常業務を終えます。
- ② 通所介護計画書の作成やモニタリングは計画的に実施し利用前あるいは期日までに行います。
- ③ 利用者の状態が変化した場合は関係機関と連携しつつ速やかに看護・介護過程を展開させ状態に応じたサービスを提供します。

2 部門数値目標

- ・ 年間の平均利用率（定員35名に対する利用者数25名）71.4%以上を目指します。
（要支援5名 要介護20名）

3 営業日 1月1日～2日を除く日

4 行事・レクリエーション計画

- ① レクリエーション
 - ・ 利用者のニーズを把握し、個々が「今日も楽しかったよ」との想いでご帰宅いただけるよう、趣味活動やレクリエーション等を計画的に実行します。
- ② 誕生祝
 - ・ 利用者の誕生日前のご利用日にカードを贈り皆でお祝いします。
- ③ 行事内容

9月	敬老会週間：15日～21日 職員による催し	2月	節分：3日 豆まきを行う
----	--------------------------	----	-----------------

- ④ 地域貢献（地域ボランティアの積極的な受入）
 - ・ 地域の方からボランティア活動の申し入れを受けたときは積極的に受け入れ、ボランティア・利用者の双方が楽しみを共有できる場を提供します。

5 事業収入見込

① 介護保険事業：年間営業日数363日

i 事業量

ア 通所介護

a 1日利用定員：35人

b 1日あたりの利用目 20.0 人

c 年間利用目標延べ数 7,260 人

ii 年間収入見込み額

内 訳		見 込 額	前年度見込額	増 減
収入	介護報酬収入	61,261,846	55,839,902	5,421,944
	利用者負担金	6,806,872	6,204,434	602,438
	食費収入	4,007,400	4,007,520	△ 120
	計	72,076,118	66,051,856	6,024,262
利用者負担 軽減事業	利用料軽減額	△ 78,000	△ 78,000	0
	軽減事業助成金	0	0	0
	計	△ 78,000	△ 78,000	0
合 計		71,998,118	65,973,856	6,024,262

② 介護予防・日常生活支援総合事業

i 事業量

ア 通所介護

- a 1日利用定員：35人 年間営業日数363日
- b 月間利用登録者数 37人
- c 1日あたりの利用者数 5人
- d 年間延利用者数 1,815人

イ 通所型サービスA

- a 1月あたりの利用者数 110人
- b 年間延利用者数 1,320人

ウ 通所型サービスC

- a 1月あたりの利用者数 3.5人
- b 年間延利用者数 42人

エ 地域ふれあいルーム

- a 1月あたりの利用目標数 11.2人
- b 年間延利用者数 134人

ii 年間収入見込み額

内 訳		見 込 額	前年度見込額	増 減	
通所介護	収入	予防給付報酬	8,516,139	10,864,938	△ 2,348,799
		利用者負担金	946,238	1,207,215	△ 260,977
		食費収入	1,089,000	1,089,000	0
		計	10,551,377	13,161,153	△ 2,609,776
	利用者負担 軽減事業	利用料軽減額	0	0	0
		軽減事業助成金	0	0	0
		計	0	0	0
小 計		10,551,377	13,161,153	△ 2,609,776	
通所型 サービスA	予防給付報酬		2,680,128	1,700,640	979,488
	利用者負担金		297,792	196,800	100,992
	小 計		2,977,920	1,897,440	1,080,480
通所型 サービスC	委託料	運動機能向上	3,031,560	3,684,480	△ 652,920
		栄養改善	0	0	0
		口腔機能向上	0	0	0
		送迎加算	299,280	287,640	11,640
	小 計		3,330,840	3,972,120	△ 641,280
地域 ふれあい ルーム	委託料	入浴あり	855,360	998,800	△ 143,440
		入浴なし	142,155	0	142,155
		独自サービス	12,150	43,000	△ 30,850
	小 計		1,009,665	1,041,800	△ 32,135
合 計		17,869,802	20,072,513	△ 2,202,711	

XI 訪問介護事業

1 事業所目標

利用者・家族が安心して在宅生活が送れるように、一人ひとりが課題意識を持ち解決に向けたサービスを提供します。

2 部門数値目標

1日の訪問件数9件以上を目指します。

3 サービス向上目標

- ① チーム及び関係機関と情報を共有し必要なサービスをタイムリーに提供します。
 - i 課題を明確にするための情報の分析にずれが生じることがないようにチームで取り組みます。
 - ii サービス提供時に得た情報をもとに、随時ケアの方針を決定し、それをチーム員で共有しながらサービスを提供します。
 - iii 心身の状態に応じたサービスをタイムリー提供します。
- ② 利用者・家族が安心して生活ができるように必要に応じた介護指導や提案を行い在宅生活を支援します。

4 営業日 通年営業

5 事業収入見込（1か月平均営業日数30.4日、年間営業日数365日）

① 事業量

i 介護保険事業

ア 1日あたりの訪問件数 8.4件

イ 年間訪問延件数 3,066件

ii 介護予防・日常生活支援総合事業

ア 訪問介護

a 1日あたりの訪問件数 0.1件

b 年間訪問延べ利用者数 36件

ア 訪問型サービスA

a 1日あたりの訪問目標件数 0.5件

b 年間訪問延べ目標件数 182件

② 収入見込み額

内 訳		見 込 額	前年度見込額	増 減		
介護保険事業	収入	介護報酬収入	9,082,724	9,335,052	△ 252,328	
		利用者負担金	1,009,191	1,037,228	△ 28,037	
		計	10,091,915	10,372,280	△ 280,365	
	利用者負担 軽減事業	利用料軽減額	△ 6,000	△ 6,000	0	
		軽減事業助成金		0	0	
		計	△ 6,000	△ 6,000	0	
合 計		10,085,915	10,366,280	△ 280,365		
介護予防・日常生活支援総合事業	訪問介護	収入	介護報酬収入	145,886	1,457,854	△ 1,311,968
			利用者負担金	16,209	161,984	△ 145,775
			計	162,095	1,619,838	△ 1,457,743
	利用者負担 軽減事業	利用料軽減額	0	0	0	
		軽減事業助成金	0	0	0	
		計	0	0	0	
	小 計		162,095	1,619,838	△ 1,457,743	
	訪問型サービスA	収入	介護報酬収入	1,037,383	0	1,037,383
			利用者負担金	115,264	0	115,264
			計	1,152,647	0	1,152,647
		利用者負担 軽減事業	利用料軽減額	0	0	0
			軽減事業助成金	0	0	0
計			0	0	0	
小 計		1,152,647	0	1,152,647		
合 計		1,314,742	1,619,838	△ 305,096		
総 合 計		11,400,657	11,986,118	△ 585,461		

XII 居宅介護支援事業

1 事業所目標

- ① 利用者の生活歴、人生観、価値観を反映させ、自立に向けたその人らしい根拠あるケアプランを作成します。
- ② 介護保険法の改定の内容を熟知し、ケアマネジメント業務を行います。

2 部門数値目標

- ① 1か月の居宅・介護予防サービス作成件数149件以上を目指します。

3 サービス向上目標

- ① 事例検討会を定期的開催し、下期には他の居宅介護支援事業所と共同して行います。
 - i 事例検討とは何かを学び、目的や主旨、進め方を理解します。(5月)
 - ii 事例検討をチーム内で月1回程度実施し、考える力を身につけます。(6月～12月)
 - iii 事例検討を他の居宅介護支援事業所と共同して行い、事例の背景と課題を明らかにし、対応策を導き出します。(1月～2月)
- ② ケアプラン点検をチームで実施し、その人らしいケアプランを作成します。
 - i 29年度のケアプラン点検支援で学んだ事を活かし各自取り組み・評価を行います。(9月・1月)
- ③ 介護保険制度の改定内容をチームで共通にします。
 - i 制度改正に基づいて仕事をしているかペア及びチーム内でチェックします。(毎月)
 - ii 介護報酬請求を誤りなく行います。特に加算についてはチーム内で確認しあって適正に請求します(毎月)

5 営業日 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12月31日～1月3日)を除く日

6 事業収入見込

① 事業量

- i 月間 ケアプラン作成目標数 149 件
- ii 年間 ケアプラン作成目標数 1,788 件

② 年間収入見込み額

内 訳	見 込 額	前年度見込額	増 減
介護支援	23,473,500		
介護予防支援	650,160		
介護予防ケアマネジメント	278,640		
計	24,402,300	0	0

XIII 地域包括支援センター事業

1 事業所目標

職員がそれぞれ専門性を発揮し力を合わせ、住民や関係機関が安心して相談できる地域包括支援センターを目指します。

2 部門数値目標

新発田市地域包括支援センター評価(市評価) で2.20点以上を目指します。

3 サービス向上目標

- ① 高齢福祉課や民生委員、地域の関係機関と連携し、歩いて通える運動の場「ときめき週1クラブ」の地域での立ち上げ支援を3か所行います。
- ② 住民相互の助け合いの実態や意識把握アンケートを訪問時に実施し情報収集するとともに、高齢福祉課等関係機関と連携し、「おたがいさま講座」を民生委員や介護サービス関係者に対して1回、集落などの地域で2回開催します。

4 営業日 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12月31日～1月3日)を除く日

5 事業収入見込

① 事業量

i 介護予防支援件数	1,644 件
ii 介護予防ケアマネジメント件数	372 件
iii 救急医療情報キット	15 件
iv 住宅改修支援件数	6 件

② 年間収入見込み額

内 訳	見 込 額	前年度見込額	増 減
新発田市委託料収入	24,064,000	24,086,000	△ 22,000
介護予防支援(介護保険)	7,177,200	6,042,000	1,135,200
介護予防ケアマネジメント(委託料)	1,701,600	284,160	1,417,440
二次予防事業	0		0
救急医療情報キット	4,500	3,000	1,500
住宅改修支援	12,000	12,000	0
計	32,959,300	30,427,160	2,532,140

XIV 管理部門

1 部門目標

- ① 上司又はチーム員間で業務の進捗状況を確認共有し、互いに協力し合いながら、事務業務年間管理表に基づいて遅滞なく業務を進めます。
- ② 支出経費等について、必要性・効果度を確認することや、幅広く情報収集することにより契約先・契約内容の見直し・検討を行い経費節減に努めます。

2 部門数値目標

事務費及び事業費の執行率(予算対比)を98.0%以下に抑えることを目指します。